

平成30年度栃木市スポーツ推進審議会第1回会議録

日時：平成30年8月8日（水）午後1時30分

場所：栃木市総合体育館 2階 会議室

1 本審議会の出席委員は、次のとおりである。

猿山美代子委員、高尾良英委員、茅島有子委員、伊藤良子委員、小笠原義仁委員、川津正夫委員、嶋田安治委員、三柴 茂委員、溝井代次委員、阿部悦子委員
神澤 享委員

2 本審議会の欠席委員は、次のとおりである。

衣川 隆委員

3 本審議会の出席事務局職員は、次のとおりである。

教育長	青木千津子	
生涯学習部長	鶴飼信行	
スポーツ振興課長	飯島正則	
スポーツ振興課長補佐		砂岡良治
スポーツ振興課副主幹兼スポーツ施設係長		手塚 満
スポーツ振興課副主幹兼大平スポーツ振興係長		関根和彦
スポーツ振興課藤岡スポーツ振興係長		糸谷昌訓
スポーツ振興課副主幹兼都賀スポーツ振興係長		中島茂晴
スポーツ振興課副主幹兼西方スポーツ振興係長		青木稔彦
スポーツ振興課副主幹兼岩舟スポーツ振興係長		小野里信孝

《会 議》

1. 開 会 午後1時40分

先に1時25分より委嘱状交付式を行い、終了後、審議会を開会した。

事務局より、本日の審議会について、委員12名中11名の出席であり、出席者が過半数を超えていることから本審議会が成立すること、会議は公開で行うため傍聴席を用意していること、また会議内容についてはホームページで公開することを伝える。

名簿順により、委員の自己紹介を行う。

会長が決定するまで、飯島課長が議事の進行う旨了解を得る。

2. 内 容

(1) 審議会の任務について（飯島課長説明）

資料-1 栃木市スポーツ推進審議会条例

(2) 会長・副会長の選出について

・事務局一任との意見があり、課長が、猿山委員を会長に、高尾委員を副会長という事務局（案）を提示。異議がないことから、猿山委員、高尾委員に了承を得て、猿山委員が会長に、高尾委員が副会長に就任する。

・栃木市スポーツ推進審議会条例第7条により、以降は猿山会長が議長となる。

(3) 栃木市スポーツマスタープランの検証結果について（事務局説明）

- 資料-2** ・栃木市スポーツマスタープランとの照合によるスポーツ行政評価について（評価要領）
・平成29年度マスタープランによる行政評価（外部評価結果）

議長 マスタープランの3ページにあるように、平成31年度を目途に、社会情勢の変化やスポーツをめぐる環境を踏まえて、検証・見直しを行うとなっているが、先程の事務局の説明について意見があればお願いしたい。

A委員 国体やリハーサル大会等で全国から選手がたくさん集まって来るが、宿泊施設の確保は大丈夫か。

事務局 第1次の宿泊施設の調査を行ったが、栃木市内の施設では不足している。ハンドボールのリハーサル大会は1,000人参加予定だが、300人までしか対応できない。そのため、小山市等近隣自治体の施設利用も考えている。

B委員 また、本大会も4競技が行われるため、配宿については今後さらに検討を重ねていきたい。藤岡の渡良瀬運動公園にオムニコートは3面あるが、大平運動公園のオムニコートと比べるとかなり劣化しているので、ぜひ整備して欲しい。整備していただければ、利用者も増えると思う。

課長 施設の整備につきましては、市内に同様の施設がいくつもあり、優先順位を決めながら行うため、すぐには対応できない。今後、なるべく早くできるように対応していきたい。

B委員 今後、市としても渡良瀬遊水地をアピールして欲しい。

C委員 平成29年度マスタープランによる行政評価（外部評価結果）の7-2スポーツのきっかけづくりと観戦機会の確保で、基本施策の評価が4だが、個別施策の評価は、2、3、4とある。どのような評価方法か。

事務局 個別施策の評価を基に総合的に判断して、基本施策を評価していただいている。

A委員 国体に向けて、施設整備を早急にして欲しい。また、広報で国体をPRして欲しい。また、市内には県立高校が6校あるので、高校と連携してボランティア等の協力を依頼すべきではないか。

議長 マスタープランについては、今年度も評価するのか。

事務局 平成31年度に計画の検証見直しを行うために、昨年度は期間内の中間評価を行った。そのため、今年度は評価を行わない。

D委員 他の地域でどのようなことを行っているのかわからないので、市全体の評価ができない。もう少し、他の地域でどのようなことを行っているのか情報を教えて欲しい。

E委員 外部評価と内部評価で、評価がかけ離れてはいないのか。

事務局 内部評価を参考に外部評価をしていただいているが、委員の評価によっては内部評価と異なる場合もあると思われる。なお、外部評価、内部評価は市ホームページで公開している。

課長 次回、評価資料を提示する。

C委員 各施策については、実施した事業について内容と経費を一覧で示してくれるとありがたい
課長 次回までに資料を提示する。

F委員 栃木市スポーツ推進委員が51名いるが、各地域でどのようなことを行っているのか。都賀地域だと都賀スポーツ・レクリエーションフェスティバルをスポーツ推進委員が中心に行っている。

課長 スポーツ推進委員は、地域のみならず市全体の事業に携わっているため、次回、資料を参考に提示する。

(4) 栃木市スポーツの現状と課題について

- ① 「いちご一会とちぎ国体2022」について（事務局説明）

- 事務局 本市では、ボート、カヌー、ハンドボール、なぎなたの4競技を開催する。
また、国体機運醸成のため行うデモンストレーション・スポーツとして、ラグビーとフットベースボールも開催される。ボート、カヌーについては谷中湖、ハンドボールについては市総合体育館、國學院栃木学園第2体育館、日立体育館、野木中学校体育館、石橋中学校体育館、なぎなたについては國學院栃木学園40周年記念館、ラグビー、フットベースボールについては市陸上競技場、多目的広場で行う。各競技の用品は、県協会が準備する。カヌーとボートの選手は、県外に宿泊できるかあたりたい。リハーサル大会は、本大会の前年に開催。準備委員会・実行委員会は、平成31年度に設立したいと考えている。
- F委員 本市で開催された「ねんりんピック」の参加人数は何人だったか。宿泊はどうだったか。
課長 後日、お知らせする。
- A委員 民泊を考えているか？
事務局 民泊も視野に入れている。インターハイでは、民泊も行った。
- A委員 坂東市体育館の国体リハーサル大会では、体育館にエアコンがついていた。リース代は1,500万円とのこと。栃木市においても、今年のように暑い日にリハーサル大会となることが予想されるので、検討いただきたい。
- G委員 ハンドボール、なぎなた、ボート、カヌー競技を市として強化しているのか。
事務局 県の協会が、各競技の強化を行っている。ボートは、8月に2回ボート教室を行い、カヌー教室も藤岡で行った。
- A委員 カヌー、ボート競技の底辺拡大を行っているのか。
事務局 小山南高校、佐野東高校に部活動があるので、高校を中心に行っている。
- G委員 小中学校の競技力向上に力を入れているようには感じられない。文部科学省で働き方改革、部活動のガイドラインが示され、部活動の週休2日、1日2時間の部活動となるため、部活動が減った時間を国体の競技力向上及び別の競技に親しめるよう、スポーツの紹介等行政的な配慮をお願いしたい。
- A委員 カヌー、ボート、なぎなたの選手が育っていないので、今後普及活動が必要ではないか。
H委員 谷中湖近隣にカヌー、ボートの艇庫を造り、手軽にすぐ使える状態にしないと底辺拡大にならないことが長年の懸念事項である。県ヨット連盟、県カヌー連盟は予算が厳しくなっている。
- D委員 ボート、カヌーについて、市では指導者の養成が必要ではないか。
課長 他にない環境があるので、今後、教室等のやり方や体制を工夫し、検討していきたい。
- A委員 ハンドボールの宮崎大輔選手が来た県のイベントはよかった。
議長 初めての審議会であるので、更に何かご意見があれば順番に伺えればと思う。
- C委員 今日の結果は、メールで配信して欲しい。
- I委員 ライフスタイルにあった、一般市民の行えるスポーツ活動を幅広く進めていただきたい。
- A委員 「この地域はこの競技が盛んだ」と言われるように協力して頑張っていきたい。
- H委員 やり方が地域によってばらばらで、まとまるのは難しい。市が各地域で何をやっているのかももっとPRしていくべきだ。
- D委員 かつて県の体育協会が主催したスポーツ維持相談事業に、スポーツドクターを派遣し子どもたちの体調管理や運動の仕方などの相談を受けていたことがあり、大変重要な事と感じていた。今後民間指導者も増えると思われ、そうした指導者に対して、スポーツドクターの助言を得ながら講習会を開催していただけるとありがたい。
- E委員 広報等でもっとスポーツ活動をPRすべきではないか。
- B委員 スポーツの取り組みに地域間で差がある。現在の栃木市のスポーツの現状を把握し、栃木市の特色を出してはどうか。特に小学生の陸上については、栃木地域において大変盛んだが、他の地域はそうでもなく格差がある。
- G委員 栃木市はスポーツ環境に恵まれている。温暖化により安心・安全なスポーツ環境が厳し

くなっているので、栃木市では熱中症対策のためハイブリッド芝のサッカー場があると良い。子どものスポーツ環境は大切なので、これからは安全安心に、そして手軽に利用できる施設整備を進めてほしい。

②平成30年度スポーツ振興課事業について（事務局説明）

資料-3 平成30年度スポーツ振興課事業一覧

J 委員 スポーツ推進委員の一本化は難しい。また、スポーツ推進委員の自主事業は、唯一、市民スポーツフェスティバルのレクリエーション競技である。他にも何かやろうとしているが、なかなかできないのが現状である。西方地域でも合併前は自主事業を行っていたが、近年できなくなってきたおり、地域に貢献できなくなってきた。今後、スポーツ推進委員が自主的に取れる予算を取ってほしい。

課 長 現在は、市民スポーツフェスティバルのレクリエーション競技以外にはスポーツ推進委員主体の事業がないので、今後検討していきたい。

D 委員 スポーツ振興課事業一覧表の内容で、地域限定の事業なのか市全体の事業なのかかわからないので表記してほしい。

課 長 今後、そのように表記したい。

(5) その他
事務連絡

3. 閉会 午後3時20分